

## 2. 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
22	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内3カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔126にも掲載しています。〕	受診者数 受診率	受診者数3,292人・受診率96%	受診者数3,275人 受診率95.1%	受診者数3,370人 受診率94.9%	受診者数3,348人 受診率94.3%	4か月児健診は3カ所の保健センターの実施となった。応援体制を密にし、図書館や子ども文庫の場所を説明するための地図を作成するなど内容の充実のため、コーナーの周知方法も検討してきた。健診当日の流れはスムーズで、絵本を通じて、その様子を保護者と共有することで、絵本の楽しさを知る機会となっている。後日、乳幼児向けおはなし会への参加など図書館利用にもつながっている。	〇市立図書館健康支援室 豊中子ども文庫連絡会
23	乳幼児向けおはなし会「ほっとタイム」	就学前の子どもと保護者を対象に、おはなし会を子育て支援センターで定期的に行う。	実施回数	97回 2センター	174回 5センター	205回 6センター	369回 9センター	計画した以外でも要望があれば行った。保護者に手伝ってもらえる内容も入れていった。「年齢別ほっとタイム」「うきうきタイム」を毎月2回。不定期の「ほっとタイム」も加えていった	子育て支援センター
24	「出前講座」	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊び提供の場での読書活動（絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等）を推進する。	実施回数	190回 5センター	120回	203回	サロン331回 サークル306回 公園199回	サロン・サークル・公園など居宅親子が出向きやすい場のできるだけ機会を作り絵本の読み聞かせをしてきた	子育て支援センター
25	「センター講座」「ほっぺ講座」	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。各センターの講座に参加することで職員の研修として活用する。また課題などについてセンター間で情報を共有し、事業点検を行う。	保護者向け講座実施回数	13回 5センター	9回	13回	13回	図書館職員へ講師を依頼して支援センターでの講座を行った。さらに図書館と共催して図書館での講座を実施した。図書館を会場として行うことで、図書館の利用者カードを作り、図書館を利用するきっかけづくりになった。年齢を分けて15名程度で行った事も良かった。	〇子育て支援センター市立図書館
26	「子育て総合支援事業」	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。 全市立幼稚園（7園）実施	実施回数 参加者人数	子育て・子育て支援講座5回 242人 育児相談・就学前相談5回 42人	5回 237人	5回 157人	4回 102人	絵本の楽しさを大人自身が実感できる講座として好評である。乳幼児同伴の参加形態のため、会場設営で工夫や配慮が必要である。	幼児教育支援センターたんぽぽ
27	フリースペース	就学前の親子を対象に週2回、親子でくつろげる場を提供する。また、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行う。（平成19年度より事業名変更）	実施回数 参加者人数	148回 5,622人	97回 2,746人	98回 2,982人	94回 2,543人	1～2歳児の親子が多いので絵本の選び方に配慮する。11月6日には教育委員の古川圭子さん（毎日放送アナウンサー）による絵本の読み聞かせを行った。親子共々聞き入っていた。	幼児教育支援センターたんぽぽ

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
28	「たんぽぽ倶楽部」	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。	実施回数 参加者人数	24回 95人	8回×5 クール=40 回計 75組	8回×3 クール=24 回計 75組	7回15 組	活動内容により絵本・紙芝居などを読む。劇遊びのときは絵本を通してイメージ作りをして親子でおはなしの世界を楽しめるようにした。	幼児教育支援センター たんぽぽ
29	「親子の学び場」講座	毎月1回(土曜日)「親子の学び場」講座を実施する。その中で、読み聞かせや子どもと本に関する講座を行う。	実施回数 参加者人数	2回 170人	2回 53人	2回 64人	1回 30人	講座の内容やテーマに関連したおはなし会を行う。	幼児教育支援センター たんぽぽ
30	図書貸出し	幼児教育支援センターたんぽぽに図書スペースを設置し、フリースペースの参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。	貸出冊数	318冊	利用者数 211人 貸出冊数 584冊	利用者数 128人 貸出冊数 333冊	利用者数 82人 貸出冊数 209冊	新たに登録された方も増え、同じシリーズの絵本やフリースペースで読んだ絵本を借りる。絵本返却箱があるので幼稚園の園庭開放や園児の送迎時に気軽に借りて返されている。	幼児教育支援センター たんぽぽ
31	情報相談(レファレンスサービス)	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。					実施	子育ての相談や図書紹介の中で絵本や本にふれる情報を提供する。	すてつぷ
32	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う	リスト掲載冊数・配布枚数		46冊・30枚	30冊、参加者20組に配布	30冊・館内及び図書館に150枚	お父さんの子育てをテーマにした資料を展示した。また、定期的に児童書コーナーで面出しし、手にとりやすい環境づくりを工夫した。	すてつぷ
	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う	参加人数		講座参加21人	服部図書館4人、千里図書館88人、庄内図書館68人	庄内図書館65人、千里図書館100人	庄内体育館・千里体育館で実施された「みんなあつまれわくわくランド」のコーナー内に”お父さんと楽しむ絵本”を展示した。今回、庄内からは男性職員が参加した。多くの利用者の要望もあり、お父さんが参加できるように「えほんにたっち」など開催日を土曜日にした催しもあった。	市立図書館
33	子育てグループ活動への支援	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。		一部実施	一部実施	一部実施	一部実施	各グループからの依頼等があれば情報提供を行っている。	公民館
34	講座の開催	読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。					未実施	講座の開催については、実施できていない。21年度後半は移転工事のため講座等の開催がすてつぷで実施できなかった。	すてつぷ
35	保護者向け講座の開催	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	参加人数	36人	67人	256人	157人(4回)	千里公民館において、梅花女子大学・短期大学公開講座として「日本の児童文学を読む」を実施。2月26日～3月26日の間に4回実施。	公民館 公民分館
			参加人数		21人	518人(5回)			

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
36	小学生のためのおはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	回数 参加人数		74人	夏休み、冬休みおはなし会51人	夏休みおはなし会を実施(9月～2月まで移転工事のため実施できず)	登録団体となった自主グループ「とっこ」が、月2回定期的に読み聞かせを実施。 9月から、国際交流センター移転工事のため活動は休止になった。	すてっぷ
			回数 参加人数	11回、 104人	11回 133人	11回 140人	12回 115人	児童館にはあそびに来る目的で来ている子が多く、お話をじっと聴くのは苦手な事もあって、おはなし会を呼びかけてもよってくる子どもは決まってくる。集まる子どもたちは、紹介される絵本を楽しめ、次回の本やテーマのリクエストと一緒に考えて楽しみにする姿は見られた。	豊中人権まちづくりセンター
			回数 参加人数	88回 1,042人	88回 1,115人	87回 782人	76回 495人	「たのしい集い」図書ラウンジで絵本を楽しんだり、リサイクル工作などを行っている。「おはなしと折り紙を楽しむ会」ボランティア団体のおはなし会とおりがみ遊び(年3回)	庄内少年文化館
			回数 参加人数	毎月1回22児童会、2ヶ月に1回3児童会、学期ごとに1回2児童会、不定期に2児童会	年間・12回 18クラブ ・11回 8クラブ ・10回 1クラブ ・5回 2クラブ ・3回 1クラブ	年間 ・12回 18クラブ ・11回 8クラブ ・10回 1クラブ ・5回 2クラブ ・3回 1クラブ	年間 ・12回 18クラブ ・11回 7クラブ ・10回 5クラブ ・3回 2クラブ	放課後こどもクラブで定期的に「おはなしボランティア ポケット」などによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	子育て支援課
37	図書リストの配布や子どもへの学習相談	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校司書や教員を通してのレファレンスに応じる。	作成回数 リスト掲載延べ冊数 図書館・小中学校等配布枚数	5回、 180冊、 1,000枚	3回、 111冊、 1,000枚	夏休みのリスト、 16冊、 1,000枚	夏休みのリスト 配布 16冊 1,000枚	夏休みの読書のためのリストを作成し配布する。来館者にも配布し貸出の参考になり好評である。	○すてっぷ 小・中学校 関係施設
38	「たんぽぽ通信」	年4回発行の「たんぽぽ通信」の中で、毎回絵本の紹介を掲載し、絵本に関する特集記事や図書館、子ども文庫に関する情報を掲載する。現在市内公私立幼稚園・関連諸機関で配布。	発行部数 発行回数	10,000部/回 4回	10,000部×4回(年)	10,000部×4回(年)	10,000部×4回(年)	毎回、幼児期の成長発達に大事なことを掲載し大人への情報提供に努める。	幼児教育支援センター たんぽぽ

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
39	子育て教室	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。	開催回数 参加人数	36人	67人	256人 (蛍池地域の6施設共催事業)	13回 987人	千里公民館では、毎月1回程度「千里親子ふれあい広場」を開催。内容は読み聞かせ・手遊びを行い、親子の絆を深めている。	公民館
		就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。							
40	絵本コーナーの設置	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。	設置箇所冊数	2カ所 116冊 設置		2カ所 183冊	3カ所 238冊	中部保健センター、庄内保健センター、千里保健センターに設置。健診・クリニック等で窓口に来所する親子が時間待ちに利用してくれている様子。自由に手に取ることのできる棚に置いているので、絵本の管理については課題がある。	○健康支援室 市立図書館
41	絵本コーナーの充実	絵本コーナーの充実、貸出し等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境づくりをする。	絵本の取り替え回数	10回	14回	21回	21回	大人向けの子育てに関する絵本・本を設置して子育てを通して保護者が、読書を楽しめるようにした。貸し出しも多く楽しまれている。内容の充実を図っていく。	子育て支援センター
42	絵本コーナーの設置	地域支援保育士が配置されている施設において、絵本コーナーを新たに設置する。	設置数			2	5	コーナーの設置に当たりスペースと管理のあり方で設置箇所が新に増やせていない。すでに設置している施設においては絵本の選定やコーナーの環境作りが必要	子育て支援センター
43	読書環境の充実	すてっぷのキッズコーナーやプレイルーム、情報ライブラリーの絵本を充実し、子どもが身近に絵本と親しむことができるようにする。	おはなし会実施回数 参加延べ人数	12回、 379人	26回、 882名	24回、 838人	月2回 (移転工事のため9月～2月は活動休止)	国際交流移転工事のため6階キッズコーナーが5階に移った。そのため情報ライブラリーの利用につなげられるようになった。	すてっぷ
44	絵本コーナーの充実	公民館のロビーや保育室にある絵本・紙芝居コーナーを充実する。	冊数			約100冊	約70冊	中央公民館では、平成20(2008)年度に岡岡図書館からリサイクル本を譲り受け、ロビーに子ども図書コーナーを設置した。21(2009)年度も引き続き譲り受け、コーナーの充実を図っている。	公民館

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
45	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。 〔154、155をご参照ください。〕	館利用人数	61,086人	57,498人	85,367人	83,661人	児童館運営委員会の保護者から、本の部屋(図書室)のリニューアルをしようという提案があり、子どもたちがゆったりと本を読める雰囲気と環境を作ることを目的に壁装飾づくり、本の整理、また、椅子にカバーをつける、フロアマットをひき寝転んだり座り込んだりできるコーナーなどを工夫した。自分たちが使う空間を楽しみながら自分達でつくる取り組みとなった。	豊中人権まちづくりセンター
			館利用人数 貸出人数	61,086人 ビデオ貸出3,886人、CD貸出106人、図書貸出168人	65,253人 ビデオ貸出185人、CD貸出68人、図書貸出203人	67,017人 ビデオ貸出63人、CD貸出9人、図書貸出81人	61,992人 ビデオ貸出107人、CD貸出16人、図書貸出117人	借りる時は図書館という人が多いので居場所としての図書室利用が多い。スペースが小さく貸切状態になるので気兼ねなく紙芝居や絵本をわが子に声を出して読み聞かせる親子が多い。	蛍池人権まちづくりセンター
			実施期間	夏休み	夏休み	夏休み	夏休み	夏休みに読む本を毎年新刊中心に展示し、利用者の貸出に提供している。	すてっぷ
			貸出人数 貸出冊数	3,012人、7,297冊	2,552人、6,192冊	2,297人、5,964冊	1,963人、5,432冊	土・日に館内で開催されるクラブ活動・カルチャー教室の参加者の貸出が多い。夏休みなどは居場所としての利用が多くなっている。	庄内少年文化館
			貸出校数 貸出冊数	32校 11,746冊	36校 11,826冊	39校 14,522冊	40校 12,721冊	市立図書館から放課後子どもクラブへの配本は41校中40校となった。資料の新規購入と合わせて子どもたちの身近な場所に本がある環境となっている。	子育て支援課
46	図書コーナーの充実	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。	児童書購入冊数	146冊	136冊	1,861冊	1,918冊	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。	すてっぷ
47	見学・交流会	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所(園)、幼稚園や他の施設の見学を行う。						図書コーナーの充実のため、配本などの際に蔵書の状況を確認、リサイクル図書の譲渡などを実施した。(中央公民館や市立豊中病院外来など)	図書館
48	本のある居場所づくり	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。	のべ閲覧人数、のべ貸出冊数		34人、16冊	170人	一部実施	ロビーでの本の配架、貸出は行わなかったが、いぶき図書室で借りた本を読んだり、学習をしたりする子どもが多く見受けられる。	青少年課 市立図書館
49	子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居等を行うボランティア活動を育成・支援する。	回数	18回	29回	13回	11回	パンダグループ修了の保護者の方でボランティアが立ち上がってきた。パネルシアターを作成。公演会が行えるようになってきた。(2~3回保育所の誕生会やパンダグループ、公演に出向いて等)	子育て支援センター

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
50	出前おはなし会	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぷの自主グループが読み聞かせを実施する。	回数			2回	1回	子育てサロンにて絵本や紙芝居、手遊びを織り交ぜて約1時間おこなった。メンバーで協力しあいながら今後も要望にこたえていきたい。	すてっぷ
51	研修の機会の提供	自主グループの活動を支援するため学習の機会を提供する。	回数 参加延べ人数	2回・23人	5回 66人	「とっこ」自主活動5回15人、ミーティングは別途	2回	登録団体には月2回貸室の提供支援をおこなっている。	すてっぷ
52	情報の提供	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。		一部実施	一部実施	一部実施	一部実施	活動場所の提供依頼があれば、積極的に行っている。	公民館
53	職員研修	読書活動における居宅(在宅)親子の現状や課題等についてセンター間で情報を共有し、互いの事業点検を行う。また各センターが実施する保護者向け講座に、他センターの職員も参加し意識を高める。	保護者向け講座実施回数	8回	1回	5回		NO.25に統合	子育て支援センター
54	職員研修	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中での読書の大切さを理解するための研修を行う。 [164をご参照ください。]	研修回数 参加人数	ボランティア講座11回・フォーアップ研修講座2回・子どもと本のつどい3回実施	私立幼稚園教諭向け絵本講座2回100人	私立幼稚園教諭向け絵本講座1回27人	私立幼稚園教諭・民間保育所(園)保育士向け絵本講座3回69人	平成19(2007)年度より私立幼稚園教諭と民間保育所(園)保育士対象には研修を実施してきたが、これ以外の子どもに関わる施設の職員対象の研修は実施できていない。今後の課題である。	市立図書館職員研修所関係施設
55	指導員研修	放課後こどもクラブのおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取り組みを行う。	実施回数 参加人数	1回 136人			未実施	研修のテーマが数多くあり、毎年実施ができない状況にあるが、2,3年に1度の割合で定期的に、絵本(おはなし)の読み聞かせの大切さを研修会で伝えていきたいと考えている。	子育て支援課市立図書館
追加	親と子の遊びのひろば「パンダグループ」「こぐま」	「パンダグループ」は2・3歳の親子「こぐま」は1歳半から2歳までの親子を対象におこなっている。毎回プログラムの中で絵本の読み聞かせを行う	実施回数 参加人数	パンダ336回 7,120人 こぐま84回 2,400人	パンダ440回 9,152人 こぐま114回 3,342人	パンダ504回 11,376人 こぐま148回 4,160人	パンダ496回 10,560人 こぐま148回 4,368人	保育所の同年齢の子どもたちが楽しんでいる絵本が提供でき「パンダ」「こぐま」での読書活動は充実している。子どもだけでなく保護者も楽しめ、絵本を通しての子どもとのかかわり方や遊びかたを見て学べる良い機会となっている。また、保護者にも読み聞かせをしていただく機会を作っている。	子育て支援センター
追加	図書館訪問	放課後こどもクラブの校外活動の一環に図書館として、図書館を訪問し、子どもたちが本を読んだり、おはなしに楽しむ機会をつくる。	館利用クラブ			2クラブ	3クラブ	平成19(2007)年度から校外活動をはじめ、41校あるうち3クラブで活用している。一度、訪問すると、子どもも喜び、他クラブにも利用の促進を図りたい。	子育て支援課